

埼玉県資料

平成 27年 11月 9日

市町村国保共同による 糖尿病重症化予防

埼玉県保健医療部保健医療政策課 政策幹
唐橋 竜一

若くて健康な埼玉県民 ～生活習慣病患者は全国最少～

【総人口 約720万人】

■ 全国5位 平成22年総務省「国勢調査」

【平均年齢 43.6歳】

■ 全国5位 平成22年総務省「国勢調査」

【1人当たり医療費
25万5,700円】

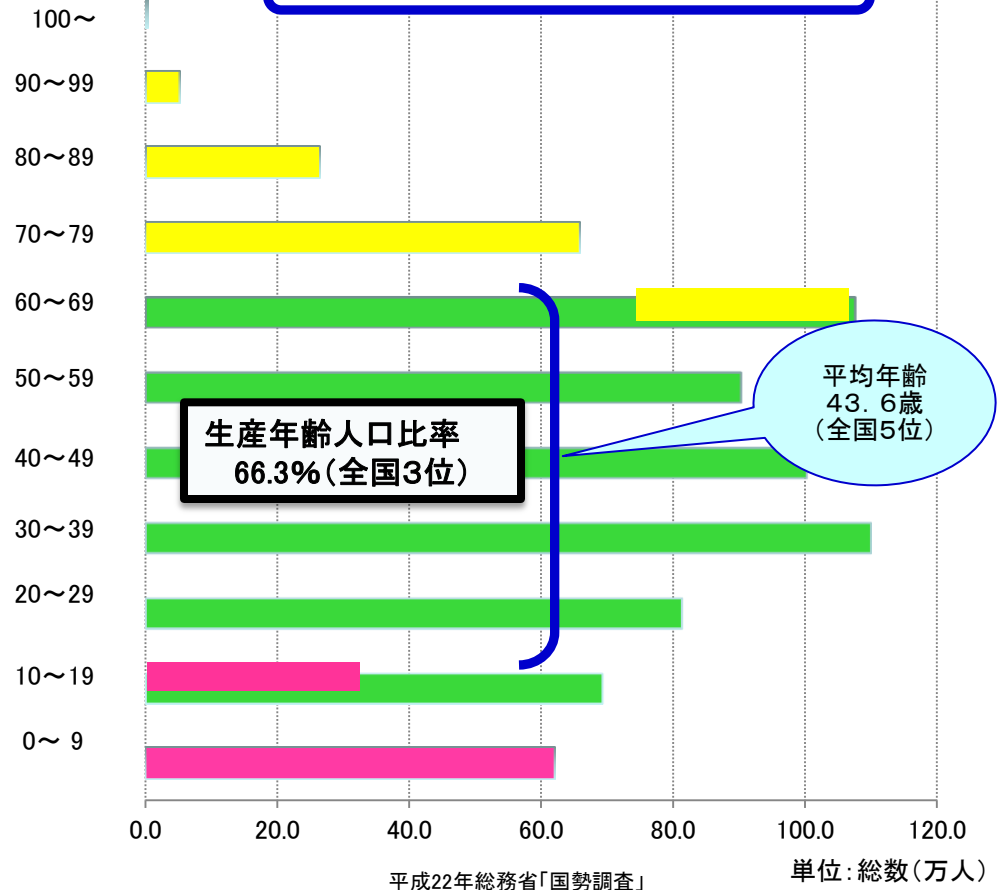
■ 全国2位（低位順）
平成23年度厚労省「国民医療費の概況」

【10万人当たり
生活習慣病受療率 601人】

■ 全国1位（低位順）
平成23年度厚労省「患者調査」

単位：年齢（歳）

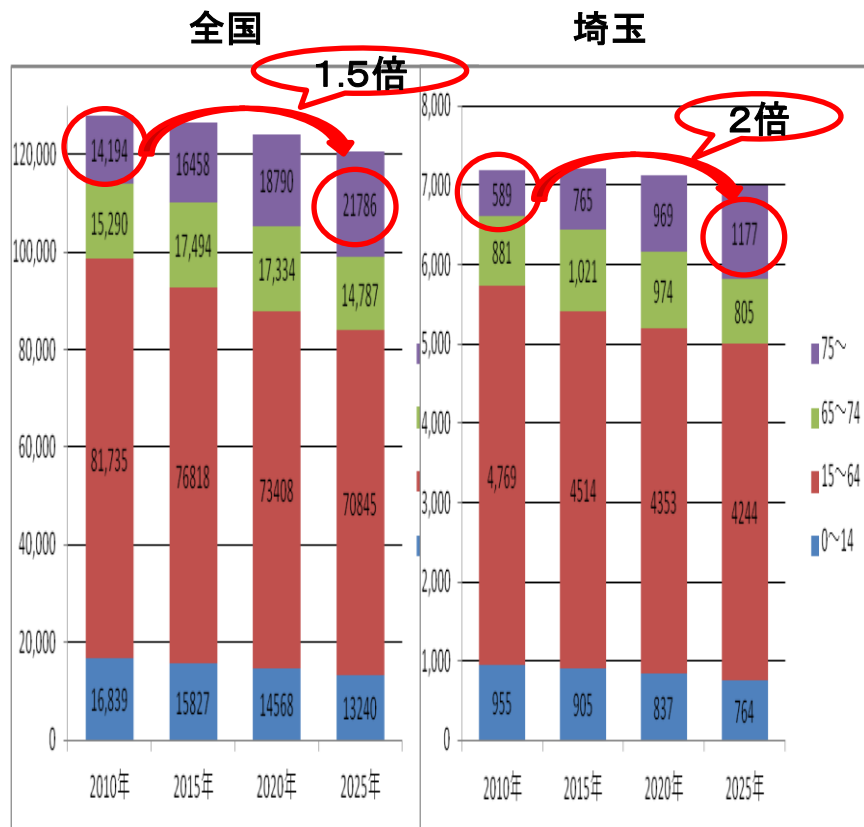
年齢別人口構成比



異次元の高齢化

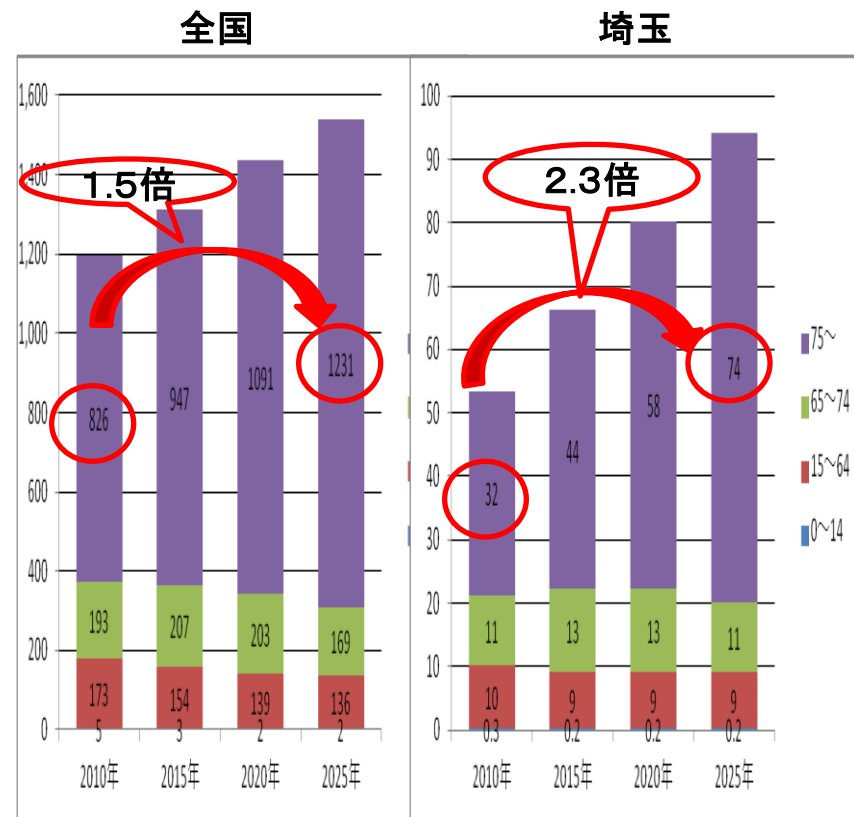
～高齢化スピードが速く、規模も大きい埼玉～

①人口構成の推移 ～埼玉は2025年に75歳以上が2倍に



※日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 平成25年)

②死亡数の推移 ～埼玉は2025年に75歳以上の死亡が2.3倍に



※全国:日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 平成24年)

※埼玉県:医学部調査及び埼玉県内医療提供体制等将来推計業務報告書(平成24年)

大都市圏の二重の課題 ～急性期対応と超高齢社会対応の二重の課題～

人口10万人当たり産科、産婦人科医師数

40位	神奈川県	33.3人
42位	茨城県	32.1人
44位	千葉県	30.4人
46位	埼玉県	28.1人

※医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成24年)

75歳以上人口の増加率

		2010年	2025年	倍率
1位	埼玉県	58.9万人	117.7万人	2.00倍
2位	千葉県	56.3万人	108.2万人	1.92倍
3位	神奈川県	78.4万人	148.5万人	1.87倍

※日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 平成25年)

救急や周産期の急性期医療を担う
人材が不足している

在宅医療をはじめとした医療需要を担う
「総合診療医」の必要性が高まる

二重の課題を同時に解決する必要

主な施策

『地域医療構想の策定』

『第6次地域保健医療計画(H25～29)における病床の整備』

『大学附属病院の誘致』

『さいたま新都心医療拠点の整備』

『救急医療体制の充実』

『在宅医療体制の整備』

『埼玉県総合医局機構を通じた医師確保』

『国保の広域化』

『健康長寿埼玉プロジェクト』

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

新たな生活習慣病対策

健康長寿
埼玉プロジェクト

健康な方を対象

「運動」+「食」に
着目したモデル事業を実施

加須市「筋力アップトレーニング」

新たな取組

生活習慣の改善が必要な方を対象

自覚症状が出にくく、重症化しやすい
「糖尿病」に集中した対策を実施

健康者

生活習慣病
患者・予備軍

重症患者

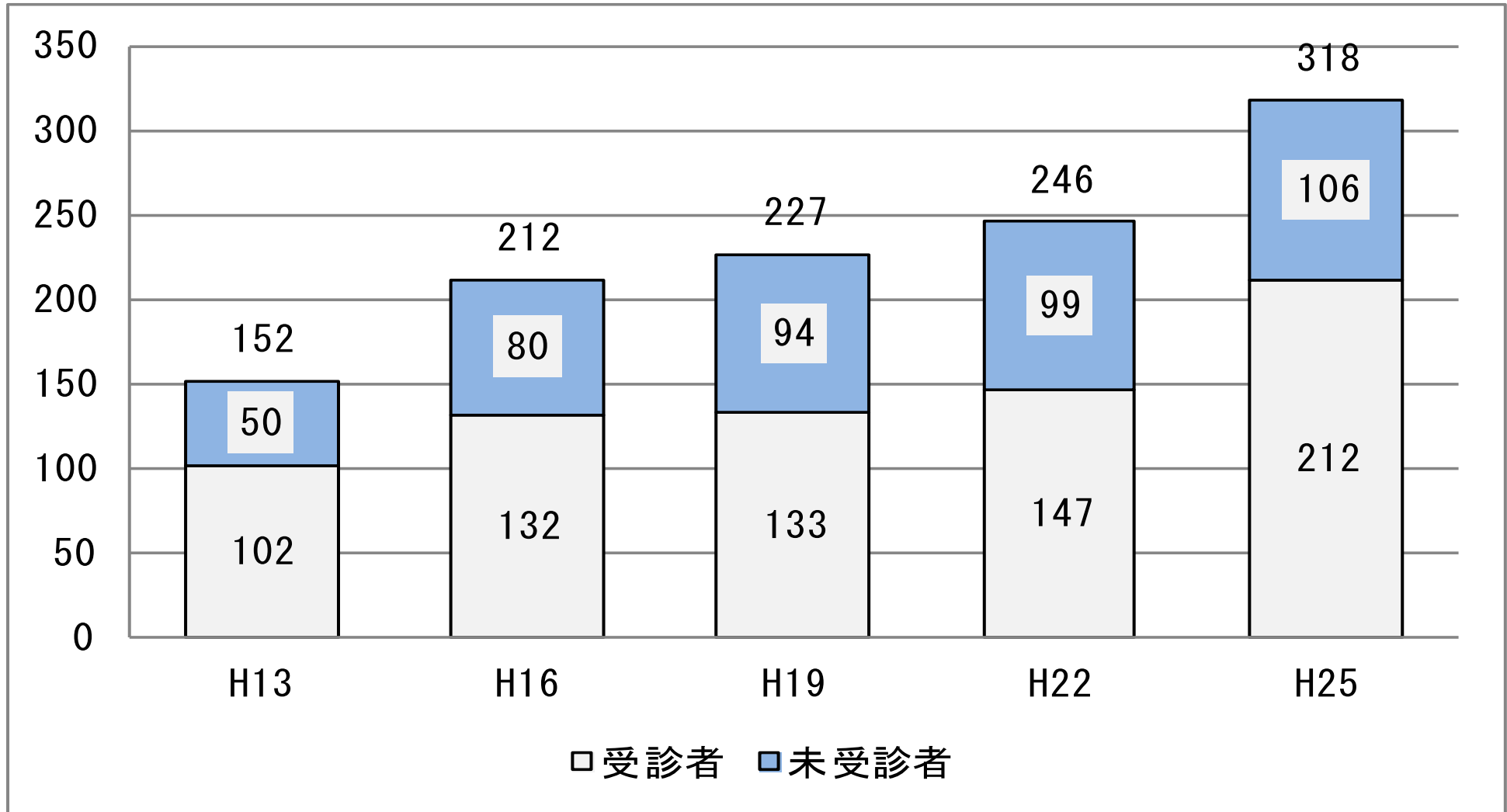
生活習慣病の経過

生活習慣の
乱れ高血圧症
糖尿病腎不全
脳卒中
心筋梗塞

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

糖尿病の現状① ～糖尿病患者の推移(埼玉県)～

(単位:千人)

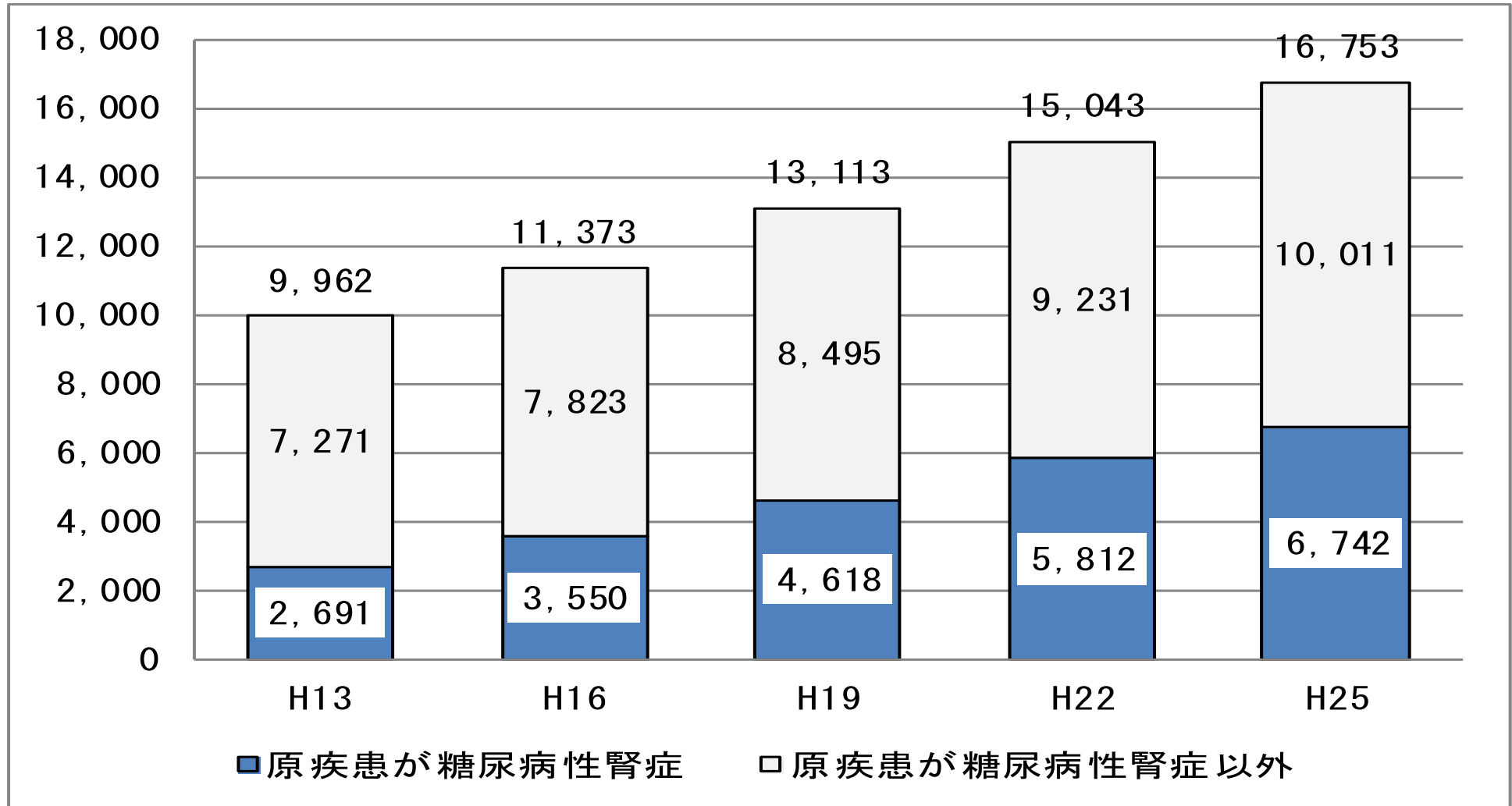


(出典:厚生労働省 平成25年国民生活基礎調査)

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

糖尿病の現状② ～人工透析患者の推移(埼玉県)～

(単位:人)



(出典:一般社団法人 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」)

糖尿病の課題

現 状

● 糖尿病患者数(埼玉県)

31万8千人
(推計)

{	通院している人	21万2千人
	通院していない人	10万6千人

(資料:平成25年国民生活基礎調査)

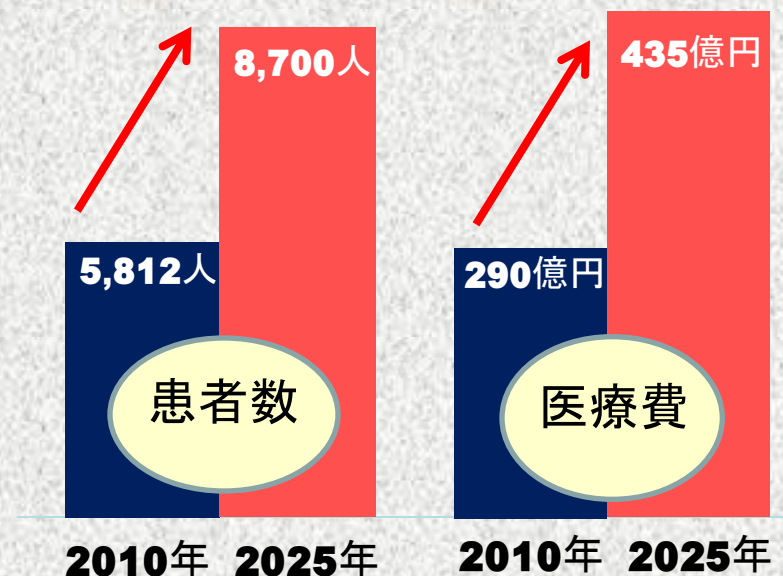
・人工透析になると週**3**回(1回**4**~**5**時間)の通院

	人工透析前	人工透析後
医療費	約50万円 /人・年	約500万円 /人・年

課 題

このままでは・・・

2025年には、糖尿病の重症化による人工透析患者数と透析医療費が1.5倍に



(資料:「我が国の慢性透析療法の現況2012年12月31日現在CD-ROM版」日本透析医学会から推計)

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

糖尿病対策実施に向けての地ならし

1. 先進地視察

- ・ 広島県呉市(H25.10)
- ・ 熊本県熊本市(H26.2)

2. 埼玉県医師会、埼玉糖尿病対策推進会議との調整

- ・ 糖尿病性腎症重症化予防プログラムを3者で作成(H26.5)
- ・ 地区医師会にも協力要請

3. 保険者との調整

- ・ 埼玉県国民健康保険団体連合会(H25.10～)
- ・ 市町村(H26.3～)

4. 情報発信

- ・ 知事記者発表(H26.11)

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

データを活用し糖尿病の重症化を予防

スケジュール

平成26年度

10月～

19市町国保で
開始複数市町村の
共同実施は
全国初

平成27年度

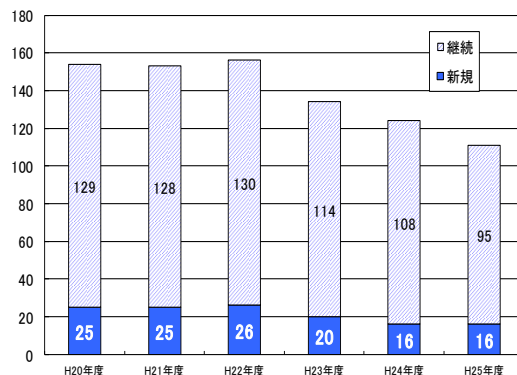
30市町国保

協会けんぽ埼玉支部も取組開始

平成28年度

全県展開
(63市町村)成果を分析し
民間や
全国に発信

取組

健診・レセプトデータ
からハイリスク者を
ピンポイントで抽出先行自治体では・・・
広島県呉市の実績
平成22年度から事業開始
→人工透析患者の減少通院していない人には
→ 受診勧奨

- 保健師等が電話により重症化リスクをしっかりと伝達
 - レセプトにより受診状況を確認
- 確実な受診につなげる

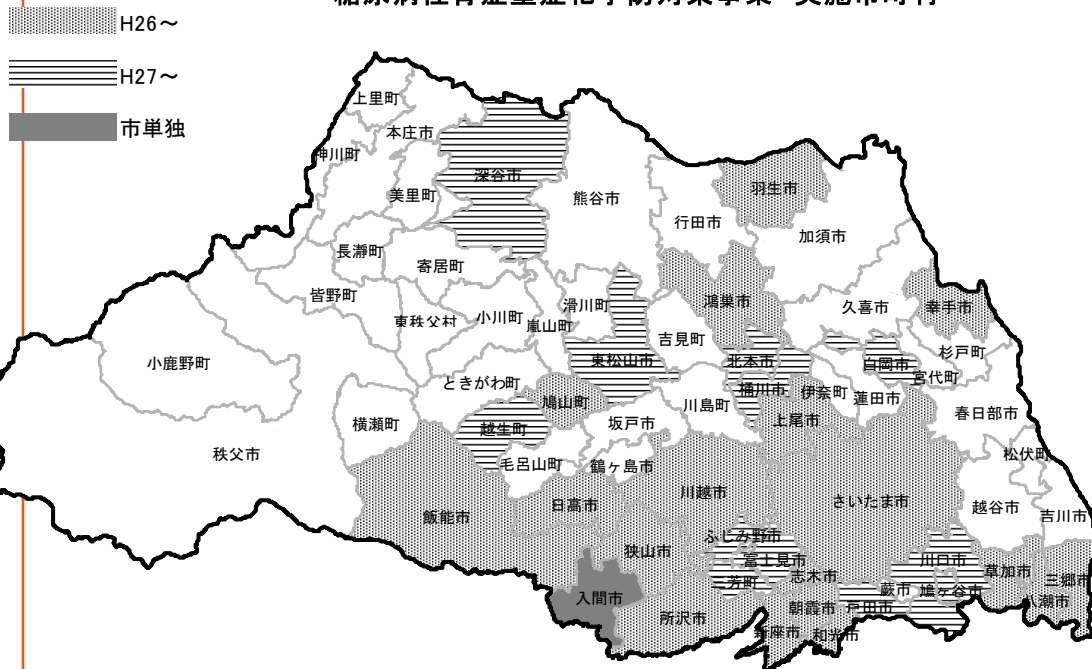
通院している人には
→ 保健指導

- かかりつけ医の指示の下、保健師等がマンツーマンで6か月間食事・運動指導
- 生活習慣の確実な改善

糖尿病性腎症重症化予防事業

- 平成26年度 事業開始 19市町(うち、入間市は単独事業として実施)。
■ 平成27年度 事業開始 11市町
(市町村国保被保険者200万人のうち約7割が対象)

糖尿病性腎症重症化予防対策事業 実施市町村



平成27年8月末現在

No.	H26開始 市町村	受診勧奨 者数(済)	生活指導 参加者数	H27開始 市町村	受診勧奨 予定者数	生活指導 予定者数
1	川越市	459	38	川口市	459	91
2	所沢市	398	74	東松山市	109	28
3	飯能市	112	30	深谷市	197	94
4	狭山市	215	70	戸田市	92	24
5	羽生市	127	18	桶川市	65	31
6	鴻巣市	107	42	北本市	44	29
7	上尾市	259	124	富士見市	179	64
8	草加市	216	60	ふじみ野市	102	61
9	入間市	72	—	三芳町	39	11
10	朝霞市	128	14	越生町	17	17
11	志木市	99	12	白岡市	30	15
12	和光市	85	21			
13	新座市	196	17			
14	八潮市	233	17			
15	三郷市	126	105			
16	日高市	77	20			
17	鳩山町	42	9			
18	幸手市	41	25			
19	さいたま市	1,383	52			
H26 計		4,375	748	H27 計	1,333	465

注1) 入間市の生活指導参加者 : 募集人員30人(9月に参加者決定)

注2) 戸田市の受診勧奨予定者数 : H26実績

生活指導の案内通知

国民健康保険加入者の皆様へ

別紙 2-8

糖尿病重症化予防のための
生活習慣改善支援プログラムの
ご案内



あなたの健康を維持するために
ぜひ、生活習慣改善支援プログラムにご参加ください。

糖尿病重症化予防のため、
生活習慣改善支援プログラムに参加しませんか？

糖尿病の合併症の一つである腎症は自覚症状がなくても、偏った生活習慣により病状が悪化し、日常生活が大きく制限される可能性があります。

生活習慣改善支援プログラムは、
(以下、「支援プログラム」と略します)
専門の研修を積んだ保健師、看護師等が
個別面談や電話で、あなたの生活習慣の中で
何を改善したらよいか一緒に考えていくものです。
例えば、食事はどう気を付けたらいいかなど
具体的な内容や日常のちょっとしたことでも
ご相談いただけます。

医療機関での治療を継続し、生活習慣を
改善することで病状の悪化を防ぐことができます。
この支援プログラムの参加費用は、**無料**(※)です。
ぜひ、ご参加下さい！

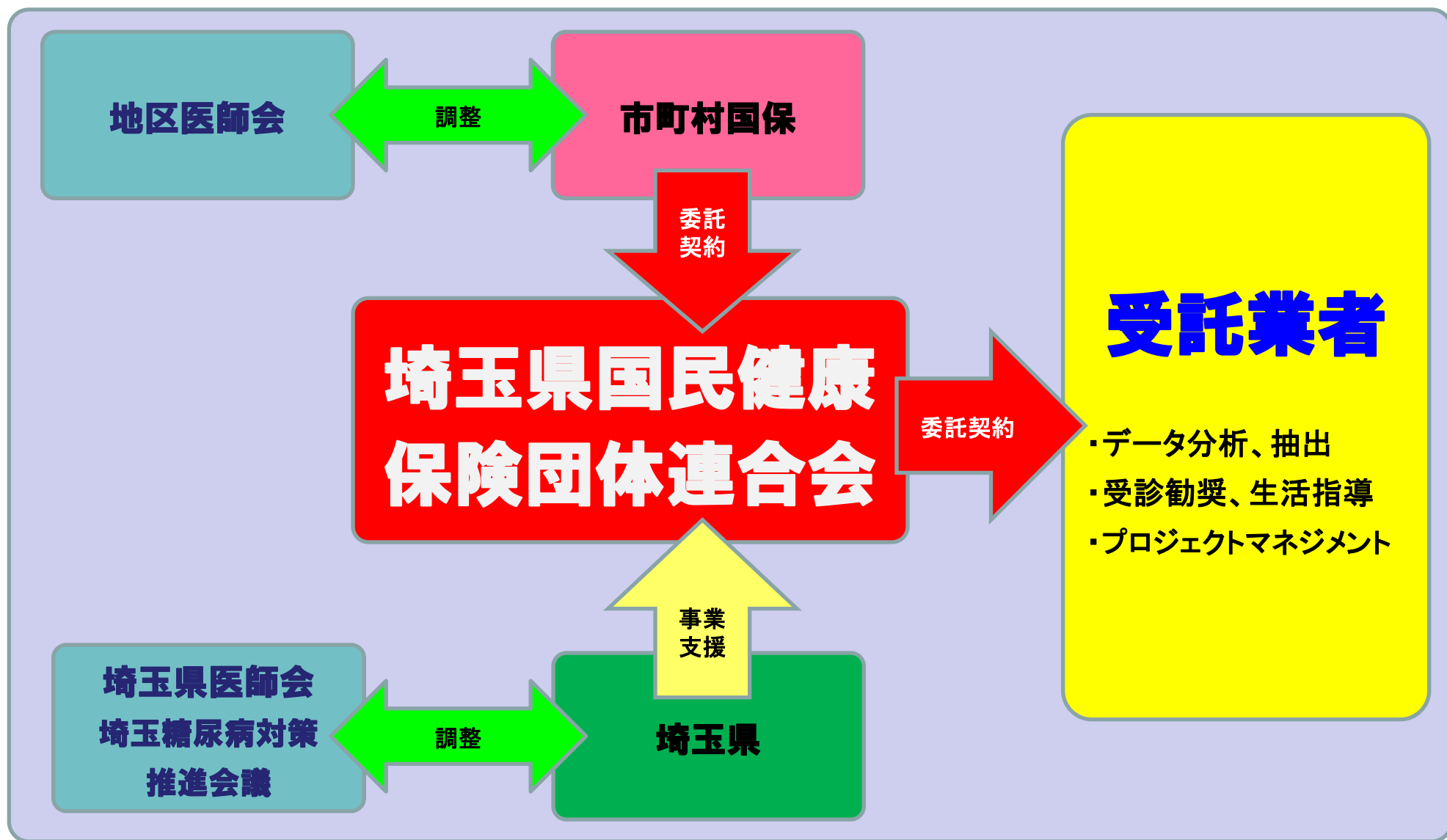
(※)検査をした場合は、通常の保険診療となります。



一度病われた腎臓の回復は困難です。
腎不全状態に陥った場合、治療は人工透析や腎移植に頼られます。
人工透析になった場合、週3回、1回4〜5時間の治療が必要になります。

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

事業の実施体制 = 市町村共同事業



市町村国保への支援

県・国保連が市町村の人・金・ノウハウを支援**人**

- ・国保連での共同事業(委託)による、マンパワーの支援

金

- ・国民健康保険財政調整交付金による財政支援

ノウハウ

- ・事業プログラムを、県、県医師会、県医師会糖尿病対策推進会議と共同で作成
- ・各市町村国保が実施する、地区医師会との調整の支援

対策の効果

1. 受診勧奨の効果(速報)

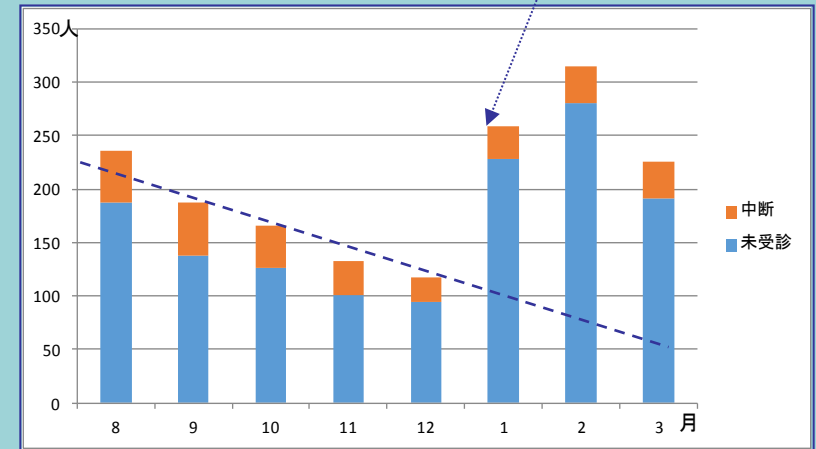
医療機関の受診が倍増

【平成26年度に事業開始した18市町の受診勧奨の結果(速報)】
平成27年7月31日記者発表

H26.7月時点 未受診者(A)	勧奨前の 受診者(B)	受診率 (C=B/A)	勧奨人数 (D=A-B)	勧奨による 受診者数(E)	受診率 (F=E/D)
4,221人	938人	22.2% 月平均4.1%	3,283人	698人	21.3% 月平均8.2%

※受診勧奨:平成27年1月中旬から3月末に実施

【医療機関新規受診者数】

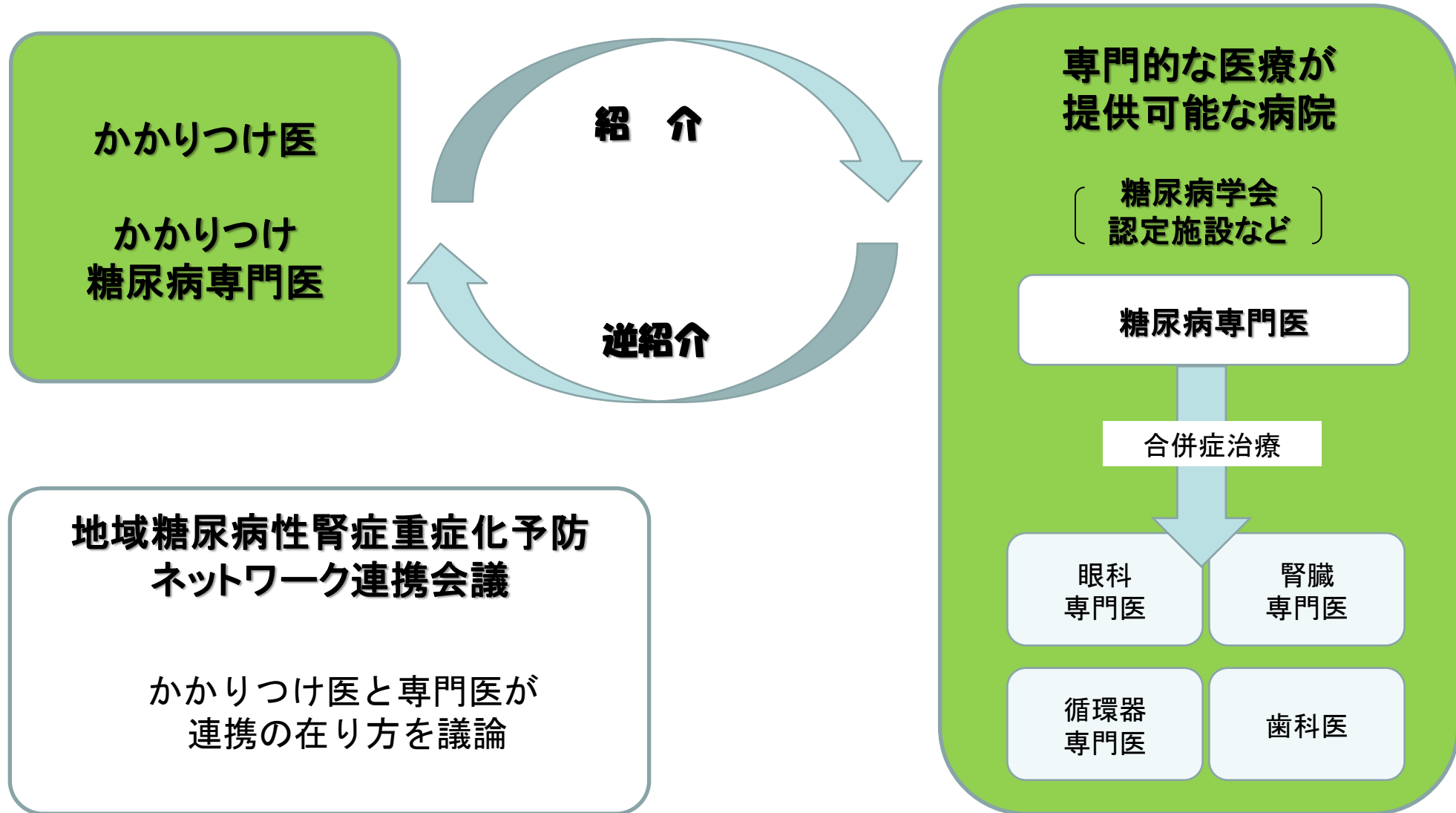


2. 生活指導の効果

現在実施中であり、平成28年2月に取りまとめ、発表予定

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

地域糖尿病性腎症重症化予防医療ネットワーク



健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

2地域におけるネットワーク構築の取組

草加・八潮地域

草加市立病院において
「糖尿病性腎症重症化予防外来」を開設
(平成27年6月～)

かかりつけ医

2回分の診療予約

草加市立病院

患者に栄養相談を含む教育
専門医の立場からかかりつけ医に治療の提案

対象:糖尿病性腎症2期以上
予約枠:週3日(各1人)

所沢・狭山・入間地域

所沢市医師会で

「糖尿病ネットワーク協力医」

「糖尿病ネットワーク相談医」

登録開始

協力医…かかりつけ医として糖尿病診療を行っている、あるいは行う意欲のある医師。

平成27年5月1日現在:80名(施設)

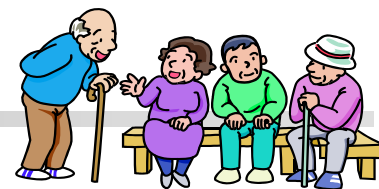
相談医…糖尿病診療の経験が豊富で、協力医から相談を受ける医師。

平成27年5月1日現在:40名(施設)

狭山市医師会、入間地区医師会でも
登録に向け準備中

健康長寿埼玉実現に向けた新たな展開

糖尿病重症化予防対策(まとめ)



～「健康長寿埼玉プロジェクト」と合わせて「健康長寿」を実現～

超高齢社会＝大半の人が慢性疾患を抱えながら暮らす社会

「データヘルス」の手法を活用し
重症化予防により健康寿命を延伸

糖尿病に着目

- ・国民の6人に1人「国民病」
 - ・有病者の4割が未受診
 - ・透析原因の4割以上が糖尿病
- 2025年には、糖尿病の重症化による人工透析患者数と透析医療費が1.5倍に



健康長寿埼玉モデル事業に参加
健康長寿サポーターとして活躍

健康者＝ウォーキング・筋トレ

生活習慣病患者・予備軍
＝外来、自宅(放置)

重症患者＝病院

通院服薬
保健指導

医療サービス + 新たな重症化予防策

取組内容

健診・レセプトデータからハイリスク者を
ピンポイントで抽出

→ 未受診者に、医療機関受診を勧奨

→ 通院患者に、かかりつけ医の指示の下、
保健師等が6月間、生活習慣改善支援

平成26、27年度 30市町国保で実施
受診勧奨:約6000人 生活指導:約1300人

効果

生活機能維持

透析になると週3回4時間の治療

→ 重症化を予防しQOL維持
(さらに)
脳梗塞、心筋梗塞の発症も防止

医療費抑制

透析になると年500万円の医療費
(透析導入前は、年50万円)

→ 透析医療費の増加を抑制
医療保険財政の安定を確保

今後の展開

平成28年度に63市町村全県展開

現役世代対策の拡充(協会けんぽ)

データヘルスの進化・拡充